

事前にいただいた質問と現時点での市の考え

1 統合について

いつからの統合を検討しているのか	令和10年4月からの統合に向けて検討を進めています。
統合した時のメリット、デメリット 統合しない時のメリット、デメリット	市教育委員会としては、メリット・デメリットを比較するという考え方ではなく、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づき、「児童生徒の教育条件の改善」の観点を中心に据え、学校規模の適正化の検討を進めております。 保護者をはじめ様々な声を伺う中で、クラス替えがないことによる人間関係の固定化や、児童間や教師と上手くいかなかったときに逃げ場がないこと、新しい友達ができにくいこと、集団生活を学ぶ機会が限られることなどへの不安の声をいただいたことが、今回の検討のきっかけとなっています。 小規模校には、教職員の目が一人ひとりに届きやすく、児童同士や教職員との距離が近いことなどの良さがあることも承知しています。 その上で、子どもたちが多様な価値観に触れ、多くの友達と出会う機会が広がることで、より豊かな人間関係を築きながら学校生活を送り、それぞれの可能性を伸ばしていくことができる教育環境を整えることが重要であると考えています。
関小か栄小かを選択することはできないのか。	旭小の児童が複数の学校に分散すると、子どもたちが友人関係の面で不安や寂しさを感じる可能性もあるため、できる限り同じ学校へまとまって進学できる形が望ましいと考えています。 また、現在でも旭小学区の一部では、学区境による学校選択制を利用し、関小へ通学している児童がいることや、旭小学区は関小学区と接している地域が多いことから、地理的条件を踏まえ、旭小学区をそのまま関小学区とすることを予定しています。

一部では反対派の方がいるがどのように説明をしていくのか	統合に関して、様々なご意見があることは承知しております。 旭小学校の在り方に関しては、令和6年12月の市長キャラバンを皮切りに、約一年半をかけ、様々な機会を通じてご意見を伺ってまいりました。市教育委員会、そして市といたしましては、いただいた様々なご意見も踏まえ、うえて、「児童生徒の教育条件の改善」を中心に据え、統合に向けた方向性をお示ししております。 今後につきましても、統合に関する検討状況や進捗状況について、保護者や地域の皆様へ丁寧な説明と情報提供を行うとともに、ご意見にも真摯に耳を傾けながら、ご理解いただけるよう取り組んでまいります。
何故対策できなかったのか、吉川市の開発が美南地区に限定しすぎたのではないかと、市の歴史を重んじて発展に努めたのか	旭地区のまちづくりにおきましては、他校に先駆けて旭小学校にタブレットを導入し、特色ある学校づくりを進めるとともに、日常の移動手段がない高齢者へのタクシーチケット交付、3世代同居近居等への住宅改修費等支援、別枠予算による生活道路への優先整備など、住み良さを高め人口の維持増加につながるような様々な施策を展開してきました。 しかしながら、全国的な少子化・人口減少の進行に加え、市街化調整区域である旭地区は、都市計画法により開発行為は原則として認められていないことから、大規模な開発による人口増加を図ることは難しい状況でございます。

2 通学方法、スクールバスについて

親の送迎ができない家庭はどうなるのか。	学校からの距離が一定以上離れてしまい通学が困難になる児童については、スクールバスの活用を検討しております。 対象となる児童や具体的な運用方法などの詳細につきましては、統合が正式に決定した後、保護者の皆様の意見を踏まえながら、事業者との交渉や学区審議会での審議により決定してまいります。
バス会社は決まっているのか	
置き去り防止対策をどのように講じるのか	
バスの時間、停留所は決まっているのか	

学年に合わせて出してもらえるのか。	また、現時点においては次のとおり検討しています（今後変更となる可能性もあります）。 ・国はスクールバスの目安を小学校において4km超としているが、地域の実情を踏まえて範囲を設定する予定 ・民間バス事業者への委託を想定 ・中・小規模バスの運用を想定 ・乗降場所は各家庭ではなく、集合場所を何箇所か設ける予定 ・他自治体の事例を参考にしつつ、吉川市にあった運用を検討していく
運転手の他に先生は乗るのか	
バスに事故があった場合の対応はどうなっているのか	
バスの安全面はどうなっているのか バスはどこまで出るのか	

3 統合後の学校生活について

児童のメンタルケアはどのように考えているのか	現在の児童や学校の状況を把握している旭小の教職員を、一定数関小に配置することを検討しております。 あわせて、日常的な健康観察や各種教育相談に加え、児童の1人1台PC端末に搭載された心の健康観察アプリ「心音」などにより、児童の悩みの早期把握・早期支援に努めてまいります。
統合して交友関係等で馴染めない子が出てきた時に、学校の先生に一任するのではなく、市としても支援やいじめ対策を考えているのか	統合後においても学校相談員及びスクールカウンセラーによる相談体制、児童の1人1台PC端末を活用した心の健康観察など、現在実施している支援体制も活用しながら、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう支援してまいります。 また、いじめについては、統合の有無にかかわらず、学校においていじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでおります。教育委員会といたしましても、学校と連携しながら、必要な支援を行ってまいります。
旭小に通って途中から関小になる場合、それ以前の交流はどうなっていくのか	円滑な統合に向け、現在も行っております両校の児童同士の交流や、学校間の連携を、さらに拡充して進めてまいります。
現在通っている子の体操着、帽子はどうなるのか	新1年生には新しい体操服などを購入していただきますが、在校生についてはそのまま使用できるようにしたいと考えています。なお、現

	在旭小に通学している児童が買い替えるための費用については、一定程度市で負担することも検討しています。
学校ごとの勉強レベルはどのくらい違いがあるのか	学習内容について、市内小学校で差はありません。
関小学校はどのような状況か	関小学校は昭和 48 年開校で令和 4 年度に 50 周年を迎えた市内 4 番目の学校です。 特徴として、校庭が広く遊具が複数あります。また、外国籍児童の割合が約 9 % と比較的多く、多様な価値観の中で学ぶことができる環境です。 両校の交流事業では、児童同士がとても楽しく過ごしており、実施後、そのことを保護者に嬉しそうに語った旭小児童もいたそうです。 また、関小 PTA 顧問の方からは、「関小はとてもいい環境であり、旭小の児童にとってもいい場所だと思う。関小はウエルカムな状態で待っており、保護者が不安を感じた時に保護者同士が相談できるような関わりができればと思う」とのお話もいただいております。
就学時検診はどうなっていくのか	現在検討中であり、入学前年度に改めて周知いたします。
学童はどうなるのか	学童保育につきましては、統合後は関小学童への入所となる予定です。 現時点では、関小学童の施設には受入れの余裕があることから、現在、旭小学童を利用している児童を含め、学童保育を利用できる見込みとなっております。
合併後、旭小と関小で時間の動き方は変わるのか	統合が決定後、学校行事も含めて検討を進めてまいります。

4 保護者関連について

学校行事の際、保護者は車で行くことはできるのか、車はどこに駐車すればいいのか。	現在の関小学校及び学校周辺には十分な駐車スペースがないことから、学校敷地内のみで対応することは難しい状況です。 このため、近隣の公共施設の駐車場の活用を含め、保護者の皆様が参加しやすい環境となるよう現在検討を進めております。
---	--

PTA はどうなるのか。	統合が正式に決定した後、旭小 PTA と関小 PTA で協議が行われ、今後の方向性について検討されるものと考えております。
--------------	---

5 跡地活用について

統合後の校舎跡地について、どのような利用を考えているのか（学童のみは旭小に残す、地域の子供達や大人が集まれる場として利用する等）	現時点において具体的な活用方法は決定しておりませんが、学校施設については有効活用を図る方針です。今後、統合が正式に決定した後、施設の状況や地域の実情、行政需要などを踏まえながら、市全体として検討してまいります。
--	---